

**SSKP** 船橋障害者自立生活センター

2012年6月

うえいガニュース

68

〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1F TEL: 047-432-4554 / FAX: 047-432-4565  
URL: <http://www.cil-funabashi.org/> E-Mail: [cil-funabashi@cil-funabashi.org](mailto:cil-funabashi@cil-funabashi.org)

## 2012年度定期総会のお知らせ

新緑の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当センターの活動にご協力頂き厚く御礼を申し上げます。

新年度を迎え、私たち事務局スタッフ一同も気分も新たに毎日の活動に追われています。

この四月から「改正」された障害者自立支援法は、私たち一人ひとりの生活のみならずセンターの活動にも大きな影響を与えています。障害の種別を越えて誰でもが地域の中で自立した生活を送るためにはどのような条件が必要なのか、それを実現するためにはどんな運動を展開するべきなのか。私達の活動はまさしく正念場を迎えていると言えます。

そうした状況をふまえて、センターの今年1年の計画を決定するために、下記の要項で定期総会を開催することになりました。

つきましては、是非ご出席の上、忌憚のないご意見をいただければ大変うれしく思います。よろしくお願いいたします。

記

日時：6月17日（日）午後1時～3時

場所：船橋中央公民館 4階体レク室

# 2012年度ピア・カウンセリング集中講座のお知らせ

船橋福祉相談協議会は、船橋市の委託により、障害の種類や程度に関わらず誰でも自分らしい生活が送れることを願って、各種の相談に応じている団体です。

このたび、同協議会の主催により、「ピア・カウンセリング集中講座」を下記の要綱で開催いたします。「ピア・カウンセリングって一体なんだろう」と興味のある人、自立生活をしてみたいと思っている人、私たちと一緒に講座を受けてみませんか。

## 開催要綱

- ☆主催：船橋福祉相談協議会
- ☆実施主体：特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センター
- ☆日程：6月20日（水）13：00 受付開始 ～17：00  
6月21日（木）9：30～20：00（交流会を含む）  
6月22日（金）9：30～12：00
- ☆会場：船橋市中央公民館体レク室（船橋市本町2-5-5 TEL：047-434-5551）
- ☆定員：10名（なお、締め切りは、6月15日（金）先着順とさせていただきます）
- ☆参加資格：障害を持っている方（種類や程度は問いません）
- ☆参加費：無料（交流会以外の飲食費、宿泊費等は各自負担となります）
- \*宿泊について：宿泊をご希望の方は、別途お問い合わせ下さい。

## 2012年度ピア・カウンセリング集中講座プログラム

日付	時間	内容	会場
6月20日（水）	13:30～13:45	さあ始めよう（オリエンテーション）	中央公民館体レク室
	13:45～14:20	自己紹介	
	14:20～14:35	休憩	
	14:35～15:30	仲良くなろう（リレーションを作る）・他己紹介	
	15:30～15:45	休憩	
	15:45～16:45	ピア・カウンセリングって何？	
	16:45～17:00	感想	
6月21日（木）	9:30～9:45	良いことあった？（new & goods）	中央公民館第二集会室
	9:45～12:00	出来ないことなあに？（障害について） ※随時休憩を入れる	中央公民館第一集会室
	12:00～13:00	昼食・休憩	
	13:00～15:00	皆が持っているもの（人間の本质） ※随時休憩を入れる	中央公民館体レク室
	15:00～16:45	つらいことしゃべっちゃおう（抑圧について） ※随時休憩を入れる	
16:45～17:00	感想	男女共同参画センター	
18:00～20:00	交流会	第一会議室	
6月22日（金）	9:30～9:45	良いことあった？（new & goods）	中央公民館第九集会室
	9:45～10:15	困った時はお互いさま（自立生活プログラム）	
	10:15～10:30	休憩	
	10:30～11:30	アプリケーション	
	11:30～12:00	全体の反省と感想	

＜申し込み先・お問合せ先＞

特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センター

〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1階

Tel：047-432-4554 Fax：047-432-4565

Eメール：cil-funabashi@cil-funabashi.org（担当：加藤・杉井）

## ピアサポーター養成研修講座に参加して

稲益実

2012年2月の木曜日に4回にわたって千葉県からの補助事業としてピアサポーター養成研修講座が開かれた。三障害の当事者約20名の参加者に混ざって、私も受講する機会を得た。ピア(peer)とは英語で仲間という意味である。

私たちは、障害者であるとか健常者であるとか、男であるとか女であるとか、子であるとか親であるとか、患者であるとか支援者であるとか、社会における様々な立場や役割以前にこの世に生を享けた同じ人間同士であるということの意味すると考える。

一人ひとりとはかけがえない唯一無二の存在として自分を大切にすると同様に他者のことをも尊重する。自らの権利を擁護すると同時に、その責任をも意識して果たす。ピアサポートの試みは、そういう対等な関係性に立ったうえで立場や役割に縛られた本来の人間性を解放し、人と人とのあり方を思いやりのある平和なものに変えてゆく可能性を持つものと期待している。

なお、この講座のあと受講者有志によりピアサポート研究会（仮称）が結成された。この研究会では講座や講演会、出張カウンセリングなどの活動を通してピアサポートの実践の向上・普及を目指す。



## 障害者ピア・サポーター養成研修講座を終えて

加藤善子

2月2日から毎週木曜日に行われました。4回それぞれ特徴があり、納得のいく内容でした。

### <2月2日：ピアサポートの意義>

人には五つの大きな長所があることを知り、障害者は、自分の人生の大事なことさえも、自分で決めることが出来なくなってしまうことが多いことを知りました。

自立とは長い間、胸の奥に閉じ込めてきた本当の自分の気持ちを引き出してあげることで、自信を与え、自分のことは自分で決めていいんだということを確認できるようになることであることを知りました。

ピア・サポーターとは、同じような経験や思いをしてきた人が対等な立場で話を聞くことが重要であることを知りました。

知的障害については、自分のそばに当事者がいるので、話を聞く際の注意点は身につまされる話でした。

### <2月9日：ピアサポーターとしての心得>

傾聴の精神が大事で、クライアントの自然治癒力が働く環境を整え、クライアントは無力ではなく、悩みや問題はあくまでもクライアントの一部であることを知りました。

### <2月16日：障害種別の特性について>

「精神障害の特性について」では、自分自身が関わっているため話を聞いて納得のいく話でした。「身体障害について」のほうは体調を悪くし、早退して話を聞けなかったので、残念だと思いました。

### <2月23日：傾聴の技法について>

傾聴の技法と実践をやりました。日常会話とセッションの違いをデモンストレーションにて行いました。その後で「今言いたい事」と「どんなピアサポーターになりたい？」というテーマで5分ずつセッションをし、感想を話して胸の中がすっきりし、4回無事に終わりました。

私には4回がとても充実したものでした。初日には講師をやりましたが、資料がなかったらやれなかったと思います。だめなピア・カウンセラーだと痛感しました。

これからももっともっと頑張っていけないといけないなと思いました。

傾聴の精神は何もそう難しいものではないように思えました。なんとなく肩でもこりそうですが、自分の心を清く持ちさえすれば大丈夫、ちょっと心配かもしれないけれど、回数を重ねれば、うまくいくと思います。この講座を受けて修了書もらった皆さん、何事も経験、頑張ってください。

## 代表のぼやき

### ～「赤い新車」～



「赤い新車」が届きました。約9年ぶりに新調した電動車いすです。選定には人一倍時間をかけました。内外数社の車に試乗して曲がりくねった体との相性を確かめ、現在の狭い住環境で部屋の出入りにも難儀している状況を考慮して小回りが利くタイプを選び、自宅から事務所までの通勤路を実際に通って走ってもみました。また、不随意に体が動いたりするほかに走行中の振動なども加わって、長く座っていると体がずれてきてお尻が痛くなったりするので、いわゆる「座位保持」についても業者や市のPTの人に相談してそれなりに工夫を凝らしたものにしました。

にもかかわらず、出来上がってきた車いすに乗り始めて数日で早くも問題発生です。まず、私の住む集合住宅は建物の入口が正面は階段になっていて使えないため、いつも裏側の駐車場からスロープを使って出入りしているのですが、傾斜の角度が急なこととスロープ自体の材質的な問題も絡んで、雨でタイヤやスロープが濡れているとスリップして自力では上がれないのです。小回りが利く構造が災いして駆動輪が空回りしてしまうことが原因ですが、「試乗」したのは天気がいい日だったので問題にはなりません。おまけに、タイヤが濡れていると建物の入口だけでなく、自室の入口でもスリップして簡単には中に入れません。他にも、普段リハビリに通っている医院の入口では天候や路面の状態に関係なくスリップします。

さらに、「体がずれない」ことを目的にして座位保持を工夫したのですが、見た目も体感的にもそれほど体がずれていない状態でもお尻に強い圧力がかかったような痛みが続くようになりました。どうやら、体を固定したことによる弊害が出てきているようです。

結局、自宅の出入りの問題は建物を管理する会社にスロープに滑り止めを貼ってもらうように要請し、座位保持の問題は近日中に件のPTさんや業者の人と再検討することになっています。

今回の問題を通して感じたことは、毎日平均16時間も座っていて、私にとっては文字通り「体の一部」となっている電動車いすを選ぶにあたって、一機種当たり30分、長くても数時間という試乗時間では生活実態に合った選定をすることは難しい、という現実です。以前、テレビで見た新型の乗用車を紹介する番組では、市街地、高速道路、さらにはアップダウンのある山間の道を走ってみて、その車の全体像を浮き彫りにしていました。電動車いすも一定期間使ってみて、仕事や食事や移乗など日常的に想定される場面で試さないことには体がどのような反応を見せるのか自分でもわかりません。車いすのフィッティングは生活の質に直結する重要な問題です。試乗車の故障や傷などを恐れて長期の貸し出しをしないようですが、後から大幅な改造や変更をするよりは安上がりだと考えます。

重度障害者の補装具選定の仕組みそのものの見直しを強く求めます。

## 老いのたわごと その1

# ルーベンスの慈愛

宮尾おさむ

筆者の知人で横丁ではないが典型スラムの陋屋に棲んでいる瀕死の年寄りがいる。辛うじてまだ命脈は保っているものの家族にも相手にされず、つきあってくれる人もいない。

つまり、家があるというだけで生活実態は行き倒れのホームレス同然なのだが、そのくせ言うことだけは一人前で見識ぶっている。先日ものぞきに行くと、いきなり「ルーベンスがすごかったよ」と言うので何事かと思えば、国立新美術館で開催中のエルミタージュ絵画展のルーベンスの絵の話である。

「後ろ手に縛られて鎖につながれている老人の口に豊満な美女が自分の乳房をふくませている絵でね、画面がデカイからすごい迫力なんだ。言ってみりゃ最も醜いものと最も美しいものの結合なんだけど、そこにこの世の真実があるとルーベンスは言うんだな。まったく大した画家だよ」

「感心したのは眼よ。美女は前屈みにしゃがむ姿勢になっているので、下向きの顔で眼が描かれていない。ところが老人は両つの眼玉がギョロギョロしてて、自分がしゃぶっている乳房をシゲシゲと見ている。その眼の動きには卑しい本能と内心のうしろめたさ、小心翼翼の老人のキャラクターまでも描かれていて、人間の内側にあるものがむき出しにされている。驚嘆したな」

知人は年齢が八十に手がとどく。そのせいか身につまされたような話しぶりは率直だったが、これだけでは話の芯が抜けている。筆者がそう指摘すると、彼はその絵の老人のように目をギョロつかせ、ゴクンと何かを呑み込んでさらに言った。

「男はつねに鎖につながれている。そして女があたえてくれるものしか得ることができない、それが本質であるというわけだ。しかもこの本質は男女関係だけでなく、あらゆる支配するものとされるもの、権力を持つものと持たざるものの関係でもそうだとあの絵は言ってる。タイトルが＜ローマの慈愛＞とはよくもつけたよ」



### 新職員紹介

2月よりWAVEでお仕事をさせて頂いている佐藤一（はじめ）です。仕事を始めてすぐに持病？歳のせい？の腰痛で入院してしまい、作業所の皆さんには大変ご迷惑をおかけしてしまいました。退院したら「職員として戻ってくるか？車椅子で利用者として戻ってくるか？」と口の悪い人（誰だったかな？）に言われて頑張って職員として戻ってきました。そんな訳でまだまだ仕事には慣れていませんが心優しい？皆さんと仕事をできることが楽しく思っています。動物は猫でも犬でも大好きです。今はミニチュアシュナウザーの「ジルバ」と言う♂犬と同居しています。一日も早く仕事に慣れて皆さんの負担にならないように頑張りたいと思っています。こんな私ですがよろしくお願いします。



これでいいのだワン！

## WAVE のうごき

### 12月

3日（土）	合同面接会
4日（日）	障害者作品展
6日（火）	ピアカウンセリング長期講座
13日（火）	ピアカウンセリング長期講座
14日（水）	フェイス相談日
20日（火）	ピアカウンセリング長期講座
21日（水）	発達障害相談員研修
22日（木）	職員会議
26日（月）	ランチミーティング
27日（火）	ピアカウンセリング長期講座
28日（水）	仕事納め

### 1月

11日（水）	フェイス相談日
12日（木）	発達障害相談員研修
16日（月）	相談支援専門員現任研修
17日（火）	自立支援協議会
19日（木）	相談支援専門員現任研修
24日（火）	市相談支援事業所連絡会
26日（木）	作業所運営委員会

### 2月

2日（木）	ピア・サポーター養成研修
8日（水）	フェイス相談日

8日（水）	福祉関係者賀詞交換会
9日（木）	ピア・サポーター養成研修
16日（木）	ピア・サポーター養成研修
17日（金）	発達障害相談員研修
18日（土）	地域福祉連絡会
21日（火）	職員会議
21日（火）	認定審査会
23日（木）	ピア・サポーター養成研修

### 3月

8日（木）	サポートグループ
14日（水）	フェイス相談日
19日（月）	ランチミーティング
21日（水）	職員会議・歓送迎会
26日（月）	福祉相談協議会理事会

### 4月

11日（水）	フェイス相談日
20日（金）	ふらっと船橋移転披露
23日（月）	職員会議

### 5月

9日（水）	フェイス相談日
9日（水）	船橋福祉相談協議会総会
21日（月）	職員会議
30日（水）	ピアサポート研究会

## 会費納入のお願い

今年度の会費をまだお支払いいただけていない方、同封の振込用紙をご利用の上、お早めにご納入下さいますようお願いいたします。

年会費は、正会員が3,000円、賛助会員が5,000円、団体が10,000円となっております。

同封の振替用紙について

この機関紙には全員の方に郵便振替用紙を同封させていただきました。これは会費、介助料、カンパなどを送っていただく際に、便利のように同封したものです。

なお、納入状況など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

GWに金沢に行ってきました。天候にはあまり恵まれませんでした。名所スポットで介助者にムービーを撮ってもらったのですが、帰宅して見てみると、私の後頭部が映っているシーンが結構多くありました。そして思っていたより後頭部が薄くなっているという残酷な現実気づかされたのです。還暦過ぎりゃあ当たり前っちゃあ当たり前ですが、普段、自分の後頭部を見る機会なんてあまりないのでなおさら驚き、思わず叫んでしまいました。「おお、かみよ！」…

T 2

## カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。

厚くお礼申し上げます。（順不同）

竹本雅昭様 松平義親様 伊藤光子様  
野中美紀様 杉井みどり様 匿名様  
佐久間良夫様

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21  
身体障害者定期刊行物協会  
頒価 100円